

# ■ 学習の様子が新聞に掲載されました

国際協力機構(JICA)北海道より講師をお招きして実施した、6年生の国際社会理解教育の様子が新聞に掲載されましたので、その様子をお伝えします。

★本ホームページ「学校の様子」12月20日に詳細を掲載

## 北海道新聞 12月21日

### 貧富の差を疑似体験

#### JICAが大麻泉小で授業



ワークショップを通じて世界の格差などを伝える津田さん

【江別】大麻泉小は国際協力機構(JICA)による出前講座として、絵本「世界がもし100人の村だったら」を題材にしたワークショップを行った。6年生43人が国際的な貧富の差などを疑似体験した。

総合的な学習の時間を活用して16日に行われ、元青年海外協力隊の津田晴香さんが講師を務めた。授業では参加した生徒数を世界の人口に見立てて、人種や年齢ごとにグループを作り、識字率や教育の格

差などについて学んだ。津田さんは持続可能な開発目標(SDGs)に触れ「誰ひとり取り残さない社会について考えてみて」と呼びかけた。

(12)は「授業を通じて世界の問題や自分の中の「当たり前」を考えられる機会になった」と話した。

(土門寛治)

交通情報

HP掲載

【北広島】プロ野球北海道日本ハムの「北海道ホ

新球場

開幕戦まで

あと 99 日

【北広島】プロ野球北海道日本ハムの「北海道ホ